

# RPK2015 報告

熊野真規子 / 鈴木実世 / 小田切雅照



2015.3.20-3.21 に開催された第 29 回 [Rencontres Pedagogiques du Kansai](#)(関西フランス語教育研究会)に学生 2 名と参加し、2014 年度の「弘前×フランス」プロジェクトについて報告してきました。(資料として、2 ページ目以降に予稿集の発表要旨と学生の報告書を添付します)

例年より 1 週間ほど早い開催で、全体の参加者数が例年に比べてかなり少なかったのが残念でした(関西全体で宿泊予約に困るほど混み合っていたので、その影響か)。とはいえ、発表やアトリエ、交流への参加から得られるものは大きかったと思います。フランス語教育者・研究者の研究会なので、もちろん学部学生は同行の 2 名のみでしたが、自分たちの発表だけでなく、いくつかのアトリエに参加するなど、期待以上に頑張っていました。なお、この発表そのものも、「弘前×フランス」プロジェクトの 3 月行事として組み込んでいたもので、プロジェクトの一貫でした。リーフレット等の発行物も持参し、全国からいらした先生方に配布しましたので、広報活動の一環としても意味があったかと思えます。

何名かの学生に声をかけ、参加希望した学生が発表したもので、同行学生 2 名はプロジェクトの学生代表という立場で発表をしたわけではありませんが、後に添付する各自の報告にあるように、それぞれが自分を向上させることができましたようです。私自身も、他大学で同じように授業以外の課外活動を指導されている若手の先生方にたいへん熱心に質問を受け、今後とも互いに切磋琢磨していけたらと思えました。

アトリエのタイトル:

## 2014 年度「弘前×フランス」プロジェクトを振り返る

Réflexion sur notre défi 2014: projet plurilinguistique et pluriculturel « Hirosaki×France »

タイムテーブル: 3/20(金)14:30-15:50

- 1) 教員: プロジェクト全体の概要と本年度の総括(課題)と展望(対策)
- 2) 学生: イベント企画・準備、取材・編集活動等のそれぞれの経験に基づく報告と振り返り

■ 発表以外に私が参加したアトリエは、以下の5つです。

- ・データベースソフトを活用したフランス語授業における教材提示の円滑化と授業の活性化
- ・La langue française n'a pas dit son dernier mot (NADEAU, Jean-Benoît 氏講演)
- ・フランス語学習のための授業外での取り組み —活動報告 2013-2014—
- ・学習経験をつくるフランス語ワークショップ

Création des expériences d'apprentissage du/en français

- ・市民性の学びの媒介とフランス語教育

Médiation dans l'apprentissage à la citoyenneté

Comment l'intégrer dans le FLE au Japon?

(熊野真規子)

## 2014 年度「弘前×フランス」プロジェクトを振り返る

Réflexion sur notre défi 2014: projet plurilinguistique et pluriculturel« Hirosaki×France »

熊野 真規子、学生（鈴木 実世/小田切 雅熙）

**KUMANO Makiko et ses élèves (SUZUKI/ODAGIRI)**

**Université de Hirosaki**

**frenchpj@hirosaki-u.ac.jp**

「複言語・複文化プロジェクト（フランス語モデル）」（弘前大学人文学部）の新しい挑戦の報告と振り返り。学生2名と共に発表する。キャンパスの内側と外側でこんなにも違う、実社会からの学び。教員も学生も学ぶ。挫折か成長か？

弘前大学フランス語ホームページおよび SNS 運営管理、オフ会活動 Cercle Francophone を土台とする本プロジェクトは、一昨年度と昨年度の「弘前マルシェ」への出店、昨年度「市長車座ミーティング」での市長への提言、それをきっかけに獲得した学生助成金によるリーフレット発行（「Tu sais, j'ai trouvé!」第1号）、ゲストを迎えての複言語・複文化プロジェクト「トークセッション」と「シンポジウム」...と地方大学ならではの「複言語・複文化教育」の方向を模索してきた。

**2014 度は、実社会の「リアルな場」での行動志向型学びへとさらに駒をすすめ、市民にわかりやすい「弘前×フランス」プロジェクトのパッケージ名のもと、キャンパスの外に繰り出すことになった。**

大学教育（外国語教育）と「まち」の相互活性化という目標、「まちをキャンパスに！」のスローガンを地域にうったえながら連携者・連携団体を探し求め、リーフレット第2号、第3号の取材・編集活動と発行、「まちなか月一コラボ企画」（「ペタンクであそぼう！」5/31、「みんなが知ってる曲をフランス語でうたってみよう♪」6/21、第1回「音楽の祭日 in 弘前」« Fête de la musique à Hirosaki »7/12、「Bix&Marki と交流しよう～音楽とフランス語に出逢う午後」8/5、「Fête Française à Hirosaki ～フランス日和」9/27,28、「『弘前×フランス』プロジェクトって？」10/27、「弘前とシードル文化」（バスツアー＋交流会@シードル工房）11/22、「フランスアニメでフランス語をかじる」12/7、「ガレット・デ・ロワをつくろう！」1/7）、**その他の活動**（「弘大×慶大」学生プレゼン交流 11/21、パンフェア&ママ・フェスでの広報活動 2/21、この RPK での発表 3/20,21）をどうにか終えようとしている。

- 1) 熊野：プロジェクト全体の概要と本年度の総括（課題）と展望（対策）
- 2) 学生2名：イベント企画・準備、取材・編集活動等のそれぞれの経験に基づく報告と振り返り

なお、時間が許せば、本年度プロジェクトの経験を生かして挑んだ**海外 PBL プログラム（行動中心主義複言語・複文化プロジェクト：「弘前×ボルドー」プロジェクト 2/9～2/23）**についても簡単に報告したい。（※予稿提出時点は、出発前の準備中。会場が確定していない、アポがとれていないなど結果は予測不可能だが...）

# RENCONTRES PEDAGOGIQUES DU KANSAI2015

@アンスティチュ・フランセ関西—大阪

2015. 3. 20-21 参加報告書

欧米文化コース 2年 鈴木実世

## 1. 発表事前準備

- ① 目標：全体での練習が少ない中、他の発表者の発表内容に合わせて、できるだけより良いパワーポイントを作成する。
- ② 成果／課題・改善点：  
全体での発表の合わせを何度も行ったことにより、内容がより分かりやすいものとなり、発表者の間での発表する内容のポイントをしっかり共有し、統一感のある発表となった。  
聞き手がどんなことを知りたいのかということをよく考えずにパワーポイントを作成し、発表した。こうした課題を自分たちから気付かなかったことが課題である。  
聞き手がどのような立場の人物で、どういったことを知りたがっているかについて考えながら、作成することが改善点として挙げられる。

## 2. アトリエ発表



- ① 目標：簡潔に与えられた時間内に相手にわかりやすく説明を行う。
- ② プレゼン・発表内容：自己紹介とフランス語歴、自分がプロジェクトの中でどういったことに関わったのかの紹介、リーフレット(取材活動)、Fête Française à Hirosaki ~フランス日和 2日目シスト(Ciste)
- ③ 成果／課題・改善点：  
時間内に相手にわかりやすく、準備段階よりもより良いプレゼンが行えた。  
Cisteというのは何であるかという説明をもう少し情報を加えて説明するべきだった。

た。質問された際に、的を射た答えを返せなかったため、あらかじめ質問される内容を予測し、答えを準備しておくべきだった。

④ 感想、展望など：

多くの教員の方々の前で、プレゼンを行うのは初めての経験だったが、発表時に冷静であったことなど自分自身の成長を確認することができ、新たな自信につながった。また、良いプレゼンの仕方を学習できた。次にプレゼンを行う際は今回のプレゼンで学んだことを踏まえて発表したい。

### 3. その他の参加アトリエ/その感想

・ Utiliser des bandes-annonces dans la classe: le media ne fait pas tout!

「授業で映画の予告編を使う 100 の方法」(2/20 10:30-11:50)

すべてフランス語での発表で、内容はほとんど理解できなかったが、予告編を使った授業内容についてのグループワークで、セリフの聞き取りや映画の内容を生徒に考えさせるなど様々な興味深い意見を聞くことができ、勉強になった。

・ フランス語単語練習 WEB ページ「フラ単」について(2/21 15:35-16:55)

今回のプレゼンで初めて「フラ単」の存在を知り、実際に使用してみて、語彙などを楽しく増やせる有益なものであると感じた。また、「フラ単」以外の様々なフランス語を学習するためのサイトの存在を知り、これらを使用して、さらに語学力を身に着けたいと思い、自身のモチベーション向上につながった。



### 4. RPK2015 の企画、教員・研究者・出版社との交流などの経験全体の感想

プレゼンや教員・研究者・出版社との交流によって、第2外国語を残していくことの大切さ、言語を通して、その地域の歴史や文化背景を知ることの大切さを再確認した。また、多くの方々が我々のプレゼンをほめてくださるなど、交流を通して、以前より自信を持つことができ、自分から交流を図ろうとするなど自身の成長を感じ取ることができた。今後、学業でより多くの歴史や文化を知り、様々な視点から物事を見る能力を磨き、語学力を身に着けたい。

こうした経験を後輩にも体験させることは、スキルアップにつながるため、行うべきである。

# RENCONTRES PEDAGOGIQUES DU KANSAI2015

@アンスティチュ・フランセ関西—大阪

2015. 3. 20-21 参加報告書

欧米文化コース 2年 小田切雅熙

## 1. 発表事前準備

- ① 目標：発表のスライドをなるべく早く仕上げ、練習を十分にやる。
- ② 成果／課題・改善点：  
この発表以外に発表があり、作らなければならないパワーポイントが複数あって、大卒が完成したのも発表の数日前、発表までギリギリ手直ししたりで練習が十分にできなかった。ある程度予測できた事だったので、もっと予定を立てて効率よく作業するべきだったと思う。

## 2. アトリエ発表



- ① 目標：  
人前での発表では緊張しやすく、早口になったり上手くしゃべれないことがあるので、なるべく落ち着いて発表すること。  
また、しゃべるスピードに関しては、「フランス人の方も見に来るのでゆっくり」と言われていたので、特に気を付ける。
- ② プレゼン・発表内容：  
自己紹介とフランス語歴、自分がプロジェクトの中でどういうことに関わったのかの紹介。黒石市で行われている「くろいスト」の実地調査、インタビューの報告。慶応大学とのプレゼン交流の話。ヒロロで開催されたパンフェスタでの宣伝活動の報告。
- ③ 成果／課題・改善点：  
自己評価としては、緊張してしまった挙句、やや早口でしゃべっていたと思われる。パワーポイントの作成もギリギリまでになってしまったのもあって、練習不足がたたった。見に来ていただいた方には「良かったよ」とお褒めのお言葉を頂いた

が、プレゼン交流の時に司会やった時と比べると、まだまだである。

課題としては、まずすぐ緊張するのをどうにかしたい。練習してもそこが直らなければ今回と同じ結果になると思われる。

#### ④ 感想、展望など：

とにかく緊張した。終わってから顔が熱かった。しかし、その後のビュッフェで発表を見に来て頂いた方とお話をする機会が得られたので、興味を持ってもらえてよかったと思う。来年度、授業で新しく参加する学生に対して経験者から活動紹介というのがあるので、発表役が回ってくるのではないかな。そうでなくても、今後もこういう発表の機会があると思うので、しっかりしたい。

### 3. その他の参加アトリエ/その感想



#### ・ Utiliser des bandes-annonces dans la classe:le media ne fait pas tout!

##### 「授業で映画の予告編を使う 100 の方法」(2/20 10:30-11:50)

参加して最初のアトリエだったが、フランス語での発表に全くついていけず、レベルの違いを思い知らされた。映画の予告を使ってリスニングの穴埋めのような事をしていたりと、興味をそそられる内容だった。しかし、予告の中にはセリフのスピードが速いのもあり、中々に実力を問われそうな方法だと感じた。

#### ・ フランス語学習の為の授業外での取り組み—活動報告 2013~2014—(3/21 11:35-12:55)

自分達と同じように授業外での活動に取り組んでいる所だったので、参考になる部分が多かった。サークル活動としては、ガレットやキッシュ等を作る部分が特に参考になった。今年度は慶應大の方とプレゼン交流をしたが、一緒にガレットを作るなどの交流も面白そうだった。

#### ・ 学習経験を作るフランス語ワークショップ(3/21 14:00-15:20)

あらゆる学習環境が整った状態で、学生にはどんな事を学んでもらいたいか、といった内容で2、3人のグループで考えていったのだが、私のグループではフランスに実際に行ってみようという内容になった。自分では教室内から出るようなことを考えられていなかったのが、発想に驚くと共に実現できると良いと思った。

今後マルシェなどでワークショップを行う上で参考になった。高校生や大学生を呼ぶにはどうしたらよいのか、逆に子供が学びを得るにはどうしたらいいのかなど、考える事が多くなりそうである。

・フランス語単語練習 web ページ「フラ単」について(3/21 15:35－16:55)

パソコンだけでなくスマホでも利用できるのも、サークルでの活動に面白いと思った。実際にやってみて、そんなに難しくない操作で a などアクセント記号付きの文字も入力できたりと、学生が利用しやすい工夫がよくなされていた。参加者の方が改善案を出していたのだが、自分が学生目線で提案できなかったのが残念だった。他にも役立つ web ページの紹介があり、学生にとっては色々勉強する際の参考になった。

4. RPK2015 の企画、教員・研究者・出版社との交流などの経験全体の感想

学生として、教授や出版社の方など大人ばかりの場所にいるというのもあって、人見知りの自分にとっては、非常に緊張して大変であった。私も成人してはいるのだが、いまひとつ場に溶け込めない部分もあったので、ビュッフェなどでは声をかけられるまで黙々と食べていたり、人に助けられた部分も多かったと思う。まずは、コミュニケーションをどうにかしなければならない、と改めて思った。

発表の中でも話したことだが、学外でフランスやフランス語に興味を持っている人には中々会えないので、今回の経験は非常に良かったと思う。自分たちの後の人にも行ってほしいし、他の大学からも来て欲しいと思う。